

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	新たな作業環境測定方法の実証的検証		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	労働衛生課		椎葉 茂樹		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	第11次労働災害防止計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>作業環境測定の測定結果の評価指標として管理濃度を定めており、この管理濃度は、その時々^の知見に基づき見直しを行っているところであるが、年々より低い濃度基準となっていく傾向にあるとともに、粒子径の大きさ又は水溶性か否か等により生体への影響が異なるため、管理濃度もそのような条件等を付しての改正の検討が必要である。</p> <p>このようなことから、現在の作業環境測定基準に定めている方法では、今後、測定及び分析が困難になる可能性があるため、新たな知見に基づく管理濃度に対応した測定方法及び分析方法について、国内外の文献を調査するほか、調査した方法を作業環境測定において活用できるようアレンジするために実証的に検証する。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>作業環境測定結果の評価指標となる管理濃度について、粒子径の大きさや水溶性か否かといった条件を付しての検討が必要となるため、主に以下の事項について、国内外の文献調査のほか、調査した測定・分析方法を作業環境測定として活用するための検討を行う。その際には、対象物質が作業現場に発散される際の性状(化合物の種類とその粒子径分布等)について、現場にて調査し、実態に即した検討となるようにする。</p> <p>また、その測定・分析方法について実地において作業環境測定を実施できることを確認することで、実証的に検証を行う。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					12	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	技術的可能性を有識者が実証的に研究するものであり、直接、労働者や事業者 ^に 働きかけるものではないため、設定することは適当でない。		成果実績		-	-	-	-
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	技術的可能性を有識者が実証的に研究するものであり、直接、労働者や事業者 ^に 働きかけるものではないため、設定することは適当でない。		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
						()	()	
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金、旅費等		3					
	事業実施費(測定量等)		8					
	消費税		1					
	計		12					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総合評価落札方式により実施者を選定する予定。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業目的の検討結果を24年度にとりまとめることとしたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	職場の作業環境方法の新たな手法を検証するための事業であり、妥当性や重要性の観点から優先度の高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					